

科目コード	A323
授業科目名	総合技術演習 I
授業科目名 (英文)	Objective Structured Clinical Examination I
講義室等	1105、他
学科	看護学科
対象学年	3年
開講学年	前学期
必修・選択の別	必修
単位数	1
時間数	15
該当ディプロマ	看DP-2、看DP-3
学科	
対象学年	
開講学年	
必修・選択の別	
単位数	
時間数	
該当ディプロマ	
担当教員	永松 有紀
授業の概要	総合技術演習 I では、臨床実習で遭遇する可能性の高い状況を課題として設定し、既習の知識、技術を活用して対象の状況を観察・判断し、対象に応じた看護を実践する力を身につけることを目的とする。 また、講義・演習の振り返りを通して、認知領域（知識）、精神運動領域（技術）、情意領域（配慮、態度）における自己の課題を明確にして、課題の達成に向けて行動するといった学び方を学ぶ。
授業の到達目標 (学修効果)	1. 課題に必要な既習の知識、看護技術について整理できる。 2. グループワークを通して安全な看護援助の実施に必要な知識・技術・態度の視点を増やすことができる 3. 既習の知識と技術を活用し、配慮をもって優先度を考えながら情報を収集し、患者の状況を判断することができる。 4. 既習の知識と技術を活用して患者の状態から看護援助の方法を選択し、安全に実施できる。 5. 演習を振り返り、知識、技術、態度における自己の課題を明らかにし、課題達成に向けた行動について記述できる。
予習復習の所要時間	講義時間16時間(2時間×1コマ×8回)+予習・復習29時間
成績評価方法	演習前の課題（10%）、グループワークへの参加姿勢（10%）、小テスト、レポート（40%）、技術評価（40%）で60点以上を合格とする。
教科書	特になし
参考書	なし 既習の知識、技術を前提とするため、1～3年次で使用した教科書、参考書、必要な資料を活用すること。
その他	演習については初回の講義に手引きを用いて説明する。 演習担当教員：永松有紀、佐藤亜紀、萩原智子、白石祈枝、西村春香、岡田なぎさ、仲前美由紀、小生理英、甲斐真優美、中村恵美、児玉豊彦、高木幸子、檜原美鈴

回	年月日	曜日	時限	授業項目	授業の形態	講師	非常勤	備考
1	R3.4.15	木	Ⅲ	ガイダンス 演習課題の説明	講義	永松 有紀		
				予習 シラバスを読んでおく				
				復習 演習課題についての知識の整理				
2	R3.4.26	月	Ⅱ	臨床判断を磨こう 患者の状態観察	講義・グループワーク	永松 有紀		
				予習 演習課題についての知識の整理、技術練習				
				復習 自己評価、小テスト				
3	R3.5.6	木	Ⅲ	臨床判断を磨こう 根拠に基づいたケア	講義・グループワーク	永松 有紀		
				予習 課題についての知識の整理				
				復習 課題についての知識の整理、小テスト				
4	R3.5.13	木	Ⅲ	報告する力を磨こう	講義・グループワーク	永松 有紀		
				予習 課題についての知識の整理、技術練習				
				復習 自己評価、課題レポート				
5	R3.6.24	木	Ⅲ	臨床判断、看護実践能力を問う実技演習	演習	永松 有紀		他演習担当教員
				予習 課題についての知識の整理、技術練習		佐藤 亜紀		
				復習 自己評価、課題レポート		萩原 智子		
6	R3.6.24	木	Ⅳ	臨床判断、看護実践能力を問う実技演習	演習	永松 有紀		他演習担当教員
				予習 課題についての知識の整理、技術練習		佐藤 亜紀		
				復習 自己評価、課題レポート		萩原 智子		
7	R3.6.24	木	Ⅴ	臨床判断、看護実践能力を問う実技演習	演習	永松 有紀		他演習担当教員
				予習 課題についての知識の整理、技術練習		佐藤 亜紀		
				復習 自己評価、課題レポート		萩原 智子		
8	R3.6.30	水	Ⅲ	演習の振り返りと自己課題の明確化	グループワーク・発表	永松 有紀		
				予習 プレゼンテーション練習				
				復習 科目の到達度の自己評価、小テスト				